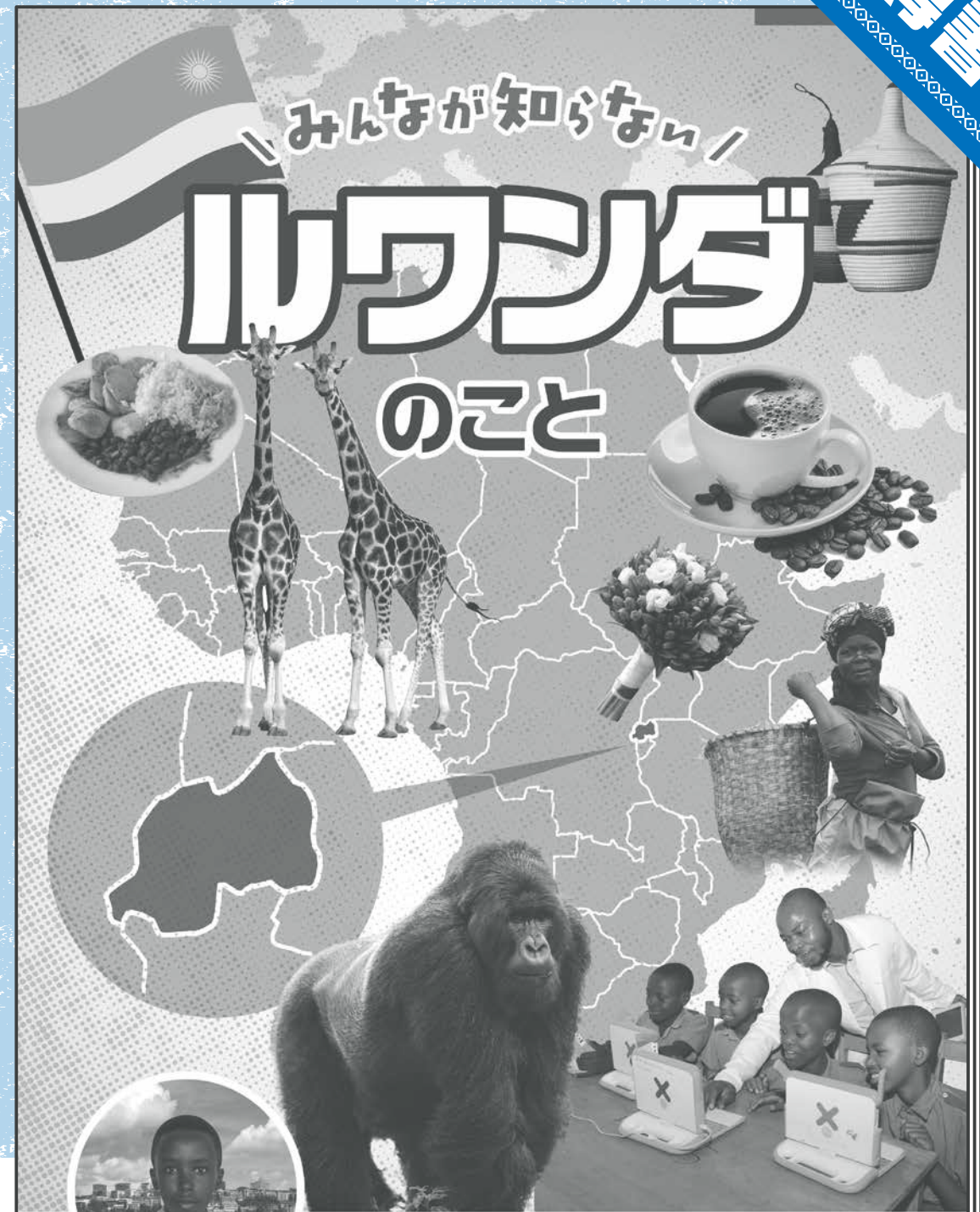


解説と指導のポイント付き!



JICAは、日本の政府開発援助（ODA）を行う機関として、開発途上国への開発協力を実施しています。

みんなが知らない!
ルワンダのこと

ワークシート

1. 「ルワンダ」の冊子を読んで、興味をもったこと、疑問に思ったことは何でしょうか。
.....
.....
2. ルワンダがかかえている課題を解決するために、
どういう取り組みをしたらよいと思いますか。
あなたの考えを書きましょう。
.....
.....
3. 将来、ルワンダで仕事をするとしたら、あるいは、ルワンダの人と
いっしょに仕事をするとしたら、どんな仕事をしてみたいと思いますか。
それはなぜでしょうか。
.....
.....

年 組 氏名 _____

紙教材裏表紙の
ワークシートを
授業の振り返りに
活用ください。



活用の手順

- 1 「ルワンダ」に対して知ったこと、興味をもったことを、まず、生徒同士で対話する時間をつくる。
- 2 各自がワークシートに自分の意見を記入。
※裏表紙に直接書き込むか、教師が前もって、人数分のコピーをとって配り、書き込んで回収してもよい。
- 3 記入したワークシートは、各自のポートフォリオに加える。

ワークシートのねらい

- 感想を文章化する作業を通して、自分の興味・関心を認識し、今後の行動につなげる。
- 国際社会に対する視野を広げる。
- 国際協力の可能性と大切さに気づく。
- キャリア教育の視点でアフリカとのつながりを考えることで、職業の選択肢を広げる。

2021年5月1日 初版発行
発行：独立行政法人 国際協力機構(JICA)
本書に関するお問い合わせ：JICAアフリカ部アフリカ第三課
〒102-8012
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
Tel：03-5226-8215(年末年始土日祝日を除く9:30～17:45)
E-mail：6rta3@jica.go.jp
URL：https://www.jica.go.jp/



監修：天笠茂(千葉大学 名誉教授)
小峯茂嗣(アフリカ平和と再建委員会(ARC)事務局長/
立教大学 異文化コミュニケーション学部 兼任講師)
落合雄彦(龍谷大学 法学部 教授)
編集制作：株式会社 ワン・パブリッシング
編集協力：株式会社WILL
イラスト：伊藤美樹
デザイン：chocolate.

国連SDGs HP(https://www.un.org/sustainabledevelopment/)
The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.

※国旗は、国連と同じ3:2のサイズで掲載しています。

教材 『みんなが知らない ルワンダのこと』



教材の構成と特徴

『みんなが知らないルワンダのこと』は、ルワンダ共和国について知り、興味を抱くための中学生向け動画・紙教材です。アフリカ編動画・紙教材と組み合わせての使用で、「ルワンダ」に対するより深い理解や、生徒の視野の広がりが期待できます。それぞれの教材の構成や特徴は、以下の通りです。

A アフリカ編動画

ポイント
再生時間は約4分。「アフリカ」に対する生徒の興味を引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

B アフリカ編紙教材

目次

- ・巨大な大陸アフリカ!
- ・けたちがいのダイバーシティ!
- ・世界がうらやむ資源の宝庫!
- ・注目のアスリートがひしめく!
- ・身近なモノでつながっている!
- ・人もこんなにつながっている!
- ・こんなふうに進んでいくよ!

ポイント
「アフリカ」の概要を学ぶための教材です。「アフリカ」がもつけたちがいの多様性から、課題解決の方向性まで、多角的に示しています。

C ルワンダ動画

ポイント
再生時間は約4分半。「ルワンダ」について「もっと知りたい」気持ちを引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

D ルワンダ紙教材

目次

- ・ストーリー
- ・ルワンダってどんな国?
- ・ルワンダの中学生のこと
- ・脱プラスチックを目指す
- ・ICTだけじゃない!
- ・農業国ルワンダの未来は?
- ・野生動物も伝統文化も大切に!

ポイント
「ルワンダ」がもつポテンシャルや課題を解説。その課題にJICAがどう協力して、解決を模索しているかがわかります。

教材使用パターン

4種類の教材は関連性のある構成になっていますが、状況に応じて切り離して学習するなど、さまざまな使い方に対応します。

ショート (50分×1~2コマ)

Aは、できれば**C**の授業前に、学級活動などの空いた時間を利用して視聴するとよいでしょう。また**B**は、読む学習にも活用できる教材です。**C**の授業前に配布し、生徒が読んでおくことで**C**の授業の下地をつくることができます。



C ルワンダ動画

所要時間例：10~20分

ルワンダの基本情報を確認し、ルワンダがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D ルワンダ紙教材

所要時間例：40~80分

ルワンダについての深い学びにつなげられます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

スタンダード (50分×2~3コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~20分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

Bは、読む学習にも活用できる教材です。**C**の授業前に配布しておくことで、生徒同士の情報共有につながります。



C ルワンダ動画

所要時間例：30~40分

ルワンダの基本情報を確認し、ルワンダがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D ルワンダ紙教材

所要時間例：50~100分

ルワンダについての深い学びにつなげられます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

フル (50分×4~5コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~30分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

B アフリカ編紙教材

所要時間例：40~70分

対話しながら見開きごとのテーマで読むことができます。考察の発表、調べ学習、ポートフォリオなど、導入、展開、まとめに幅広く活用できます。

C ルワンダ動画

所要時間例：10~30分

ルワンダの基本情報を確認し、ルワンダがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D ルワンダ紙教材

所要時間例：90~120分

ルワンダについての深い学びにつなげられます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

授業への取り入れ方例

APPROACHES TO TEACHING

年間指導計画にどう位置づけるか(例)

この教材は、「総合的な学習の時間」の国際理解教育での活用が想定されますが、内容の一部を道徳や各教科学習をはじめ、横断型の学習に位置づけても活用できます。また、教育活動全体を通じて行われるキャリア教育にも適しています。

教材には、生徒が「アフリカ」と「ルワンダ」について多面的に理解し、関心をもつとともに、日本との関わり

り及び国際協力について理解するというねらいがあります。

生徒が興味をもちやすい話題を入り口として、SDGsやアフリカ諸国の課題にもふれる構成になっています。探究課題の設定や、課題解決に向けた主体的で対話を通じた協働的な学習などに生かしてください。

年間指導計画の記載例を、以下に示します。

国際理解教育(総合)	道徳	社会ほか(教科)
「ルワンダ」について学ぶことで、異文化の存在を認める寛容性を身につけられるようにする。学ぶにあたっては、適切な情報を収集したり選択したりできるメディア・リテラシーを身につけられるようにする。	「ルワンダ」について学び、さまざまな価値観をもつ人と尊重し合いながら生きるために視野を広げられるようにする。正解が1つではなく、自ら考え、多面的・多角的な見方ができるようにする。	「ルワンダ」についての多面的・多角的な考察を通して、国際社会で主体的に生きるための資質・能力の基礎を養えるようにする。個人の社会的な活動への参画が国の平和や繁栄につながることに気づくようにする。

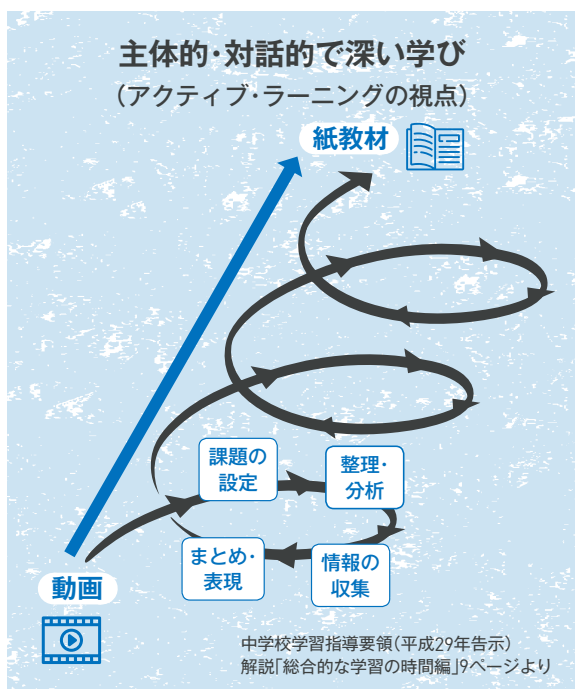
平成29年・30年改訂 学習指導要領との関連

何ができるようになるか

「アフリカ」特に「ルワンダ」の文化や歴史から課題を理解する「知識及び技能」、適切な情報を収集し考察した結果を人に伝える「思考力、判断力、表現力等」、学びを自分の生き方に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育むことができます。

どのように学ぶか

動画教材では、主体的に学ぶための興味・関心を引き出すことができます。紙教材では、考えたり話し合ったり調べたりする活動を通して、主体的・対話的に学ぶことができます。よりよい課題解決に向けた「深い学び」にも適しています。



「総合的な学習の時間」の国際理解教育

学習の成果を存分に発揮するゴール(まとめとなる活動)を、単元の授業時数に応じて設定しましょう。

生徒が「アフリカ」や「ルワンダ」を身近に感じ、自分のこれからの生活に関わるものの一つとしてとらえるようになる姿を想定するのがポイントです。

学年全体で

- * クラス、または学年全体で学習発表会を行う
- * 次年度入学してくる小学6年生に向けて伝えたい内容をまとめ、出前授業をする



教科横断的に

- * ワークシートをまとめ、ポートフォリオに加える
- * 調べ学習の成果を壁新聞にして、掲示する
- * 学習して得た情報や「ルワンダ」のイメージをもとに自由に作品をつくり展示する
- * 「ルワンダ」の課題から自分にできることを考え、それをポスターなどで表現する
- * 「ルワンダ」の魅力を伝えるCM映像をつくるなど

各教科の授業でも

各教科の授業では、教材の一部を、学習事項と関連づけて活用することができます。下記は、活用方法のほんの一例です。

- * 国語科…紙教材のストーリーを読んだ感想を文章にまとめる
- * 社会科…紙教材の内容に関連する「ルワンダ」のニュースを、ネットなどから探して読んでみる
- * 数学科…相似や比などの図形の学習と関連づけて、「ルワンダ」の国旗を作図してみる
- * 理科…「ルワンダ」のような気候で育つ植物について気づいたことを言ってみる

- * 音楽科…この楽器は何でしょう？ この楽器の音はどれでしょう？ といったクイズをする
- * 美術科…「ルワンダ」の伝統的な衣装の色合いや模様の中に、造形的な美しさを感じ取る
- * 技術科…ICT(情報通信技術)について、日本の普及状況と比べて考える
- * 家庭科…「ルワンダ」の料理やレシピを調べる
- * 保健体育科…「ルワンダ」で人気のスポーツについて調べる
- * 英語科…「ルワンダ」の公用語や地域ごとに違う言葉を調べて、聞いたり話したりしてみる

見開きごとの
テーマがあるので
各教科に取り入れ
やすい!

たとえば数学で…

このページのグラフと
日本のグラフを比べて
…の計算をすると…



指導計画と授業展開の例

TEACHING PLANS AND EXAMPLES

このページでは、主に総合的な学習の時間の「国際理解教育」にこの教材を位置づけたときの単元のねらい、評価の観点、授業展開や評価の例を紹介しています。

授業展開例 (フルバージョン)

ねらい

- 「ルワンダ」について理解を深める。
- 多様な文化を認める寛容な心を身につける機会とする。
- 国際協力を、自分の生活とのつながりの中でとらえ、これからの生活に生かそうとする態度を育てる。
- 「ルワンダ」のもつ課題に気づき、身近な問題に結びつける。
- 課題を解決するために必要な知識及び技能を身につける。

評価の観点

知識・技能

- 教材を活用し、人々の暮らし、産業、地理、気候、歴史、文化などを通して「ルワンダ」を知る。
- 地図帳や教科書など、各教科の資料や教材をリソースとして再活用する。

思考・判断・表現

- 「ルワンダ」とのつながりを身近なものとしてとらえ、自ら学習テーマを設定する。
- 学んだ内容を分析・再構築し、他者にわかりやすく説明したり作品として表現したりする。

学びに向かう力

- ペアやグループでの協働学習を通して、友達と交流したり他者の考えにふれたりして、人との違いや多様性を楽しみながら学び合う。

活動(50分×4~5コマ)	
導入	1. アフリカ編動画の視聴。教師は、生徒が声を出したり画面をじっと見たりする様子から、アフリカに関心をもつ姿を見取る。
展開	2. 動画の内容について、感想を話し合う。感想から、生徒がアフリカに興味をもった点を拾い出す。生徒の既存知識を生かしながら、アフリカを身近にとらえられるように留意する。
	3. アフリカ編紙教材を配布し、見開きごとに対話しながら読む。
まとめ	4. 生徒の気づきや疑問を拾い出し、教材、他教科の教科書、書籍、インターネットなどで調べてみるように促す。
導入	5. 前時の復習。アフリカについて各自が調べた情報も共有し合う。
展開	6. ルワンダ動画を視聴する。
	7. 動画の感想から、ルワンダ紙教材につなげる。紙教材を配布し、資料として読んだり、調べ学習のリソースとして活用したりする。
展開	8. 生徒がもっと知りたいと思ったテーマをあげ、自分が調べたいテーマ(探究課題)を決める。
	9. 同じテーマに決めた者同士でペアやグループをつくり、調べ学習を進める(ICT活用)。
まとめ	10. 調べたことをスライドにして、プレゼンテーションする(ICT活用)。
	11. 感想について簡単に対話し、ワークシートを記入する。
	12. ワークシートをポートフォリオに加える。



ポイント①

社会科の地図帳などの生徒の持ち物や、学校図書館の本なども活用しましょう。

ポイント②

解説が必要な用語は、8ページ以降の「指導のポイント」に掲載があります。

ポイント③

ワークシートについて紙教材の裏表紙に、授業のまとめで活用できるワークシートを用意しています。



学習活動と評価(例)

この教材は ① 知らない文化に興味をもって調べる活動、② 異文化を認め合う寛容性を育む話し合い活動、③ 「ルワンダ」のもつ課題や国際協力について考察する活動など、さまざまな学習活動に対応します。それらの活動での生徒の姿を見取り、評価につなげられます。

ここに生徒の活動の姿の見取りと評価の例(所見)を紹介します。

興味をもつて聞く



冊子を読んで「ルワンダ」に興味をもち、自らの感想を周囲に伝えることができました。

疑問を抱く



「ルワンダ」のもつ課題に関心や疑問を抱き、それを自らの学習テーマとして設定し、調べ学習にも主体的に取り組みました。

日本とのつながりや、自分とのつながりについて考える



資料から得た情報を日本と比べて考察し、「ルワンダ」のもつ課題を自分の身近な問題としてとらえることができました。

調べたテーマについて日本がどう関わっているかを考察し、結果をわかりやすくまとめてプレゼンテーションすることができました。

考えを話し合う



「ルワンダ」について調べた情報について、ペアの人とよく話し合いながらプレゼンテーションの内容を決めていくことができました。

「ルワンダ」のもつ課題に着目し、自分で調べた情報や友達が調べた情報を整理しながら話し合いを進めることができました。

発展的な学習活動

この教材では、「アフリカ」特に「ルワンダ」について知るなかで、その国のもつ課題とSDGsとを結びつけて、よりよい解決方法について考えていくことが、一つの発展的な学習活動として考えられます。また、JICAなどの国際協力機関の存在に気づき、どのような活動をしているのかを調べたりして、自分はどういう社会的活動ができるかなど、生徒が主体的に進路を選択していくためのキャリア教育にもつなげられます。

「ルワンダ」のもつ課題をSDGsと関連づけて考察し、よりよい解決方法について話し合うことができました。

国際協力機関がどのような活動をしているかを調べ、自分が将来、どのような活動に参画できるかについて考えることができました。



[所見例]

「ルワンダ紙教材」の 指導のポイント

COMMENTARY AND TEACHING POINTS

ルワンダ紙教材のテーマは「内戦からの復興と経済成長」。1990年からの内戦と大虐殺を乗り越えて、ルワンダが復興し、ICTによる国づくりで躍進してきた様子を具体的に紹介しています。

2~5 ページ

導入・発問例

- この建物、何だと思う？
- アフリカの奇跡ってどういう意味？
- 地図でルワンダを見て、何か気づくことはある？
……社会科
- 内戦後、政府が身分証明書の民族記載をやめたのはなぜだと思う？
……道徳科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

指導のポイント

ルワンダの内戦は、植民地時代の分割統治政策によって分断されたツチとフツの争いでした。内戦後、政府は民族間の溝を埋めて国としてまとめるために、身分証明書の民族記載をなくしました。ICTを中心とするルワンダの発展が「アフリカの奇跡」といわれる背景には、大虐殺(ジェノサイド)による人口減少、難民の帰還、反対派の活動などの問題が残るなかで復興に当たった政府の強い指導力があった点を押さえます。

難民については、日本人で初めて国連難民高等弁務官となった緒方貞子*さんも紹介しながら説明しましょう。命を助けることを最優先として難民支援に当たった緒方貞子さんのインタビュー記事や著書などを、生徒が難民について知り、話し合うきっかけにしましょう。

ルワンダ重要年表

1962年 7月	ベルギーから独立。カイバンダ(フツ)が大統領就任
1973年	クーデターでハビヤリマナ准将(フツ)が政権掌握
1990年 10月	ツチ中心のルワンダ愛国戦線(RPF)がウガンダから侵攻
1994年 4月	ハビヤリマナ大統領暗殺。ジェノサイド始まる
1994年 7月	RPFが全土を完全制圧。ピジムング大統領(フツ)、カガメ副大統領(ツチ)就任
2000年	ピジムング大統領辞任。カガメ大統領就任
2001年	ガチャチャ裁判*始まる
2003年	国民投票による新憲法制定
	大統領選挙でカガメ大統領当選。以降、2回の大統領選挙を経て、2021年現在まで現職

*緒方貞子:「日本人初の国連難民高等弁務官 緒方貞子さん(UNHCR日本)」Webページなどを参照しましょう。https://www.unhcr.org/jp/sadako_ogata

*ガチャチャ裁判:ジェノサイド後、従来の司法制度の下では裁き切れない加害者の数と、刑務所のキャパシティ不足という危機に対応するため、伝統的共同体(村)で、伝統的な正義と和解のシステムを活用して行われた裁判。

指導のポイント

クラボや工房(オープンスペース)の設立には、JICAも協力し、JICAや日本の政府機関、地方自治体、高等教育機関などが、ラボの運営や起業したベンチャーの支援を続けています。ルワンダでは、インターネットの普及や、ICTを使いこなす人材の育成が急速に進んでいます。革新的な技術の進歩によって、なぜ国や人々が豊かになるのか、便利さや豊かさとの因果関係を考える手がかりにしましょう。

用語解説

*1-「ジェノサイド」ある民族(人種)集団を計画的に絶滅させようとする事。ここでは1994年のルワンダ大虐殺をさす。

*2-「ディーゼルや太陽光の発電機」ディーゼル発電機は、圧縮した空気に軽油(重油)を噴射し、燃焼させて動力を生み出す。近年、太陽光発電も導入が進んでいる。

導入・発問例

- 1ルワンダフランは約0.11円。このお札は何円くらい?
……数学科
- 電子マネーを使ったことがある? ルワンダで電子マネー決済が広がる理由は何?
- 起業に大切なことって何か、考えてみよう。
……キャリア教育
- 8クラボや工房(オープンスペース)が近くにあったら何をしたい?

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

アクティブラーニング!のポイント

ルワンダの歴史やICT活用の様子、国際会議場やラボなどについて、調べたり、話し合ったり、情報を整理してまとめたりする学習に役立つキーワード、検索ワードの例です。

調べ学習に使える! /

検索ワード

- ルワンダ ICT ラボ
- ルワンダ 国際会議場
- ルワンダ アフリカの奇跡

*ルワンダについて調べ学習を進める際は、内戦などに関連して、中学生にはインパクトが強すぎる画像などが目につく場合があります。注意してください。

発問例

- ① 海拔1000~4500mって、日本ではどこだと思う？ その気候は？ ……**社会科**
- ② ルワンダの人と話すつもりで、英語で自己紹介をしてみよう。 ……**英語科**
- ③ 女性が活躍するために必要な環境について、考えてみよう。 ……**キャリア教育**
- ④ ルワンダの気候に適した服装を考えてみよう。 ……**家庭科**

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

アクティブ・ラーニング!のポイント

ルワンダの政策を参考に、女性が活躍しやすい社会を実現するにはどうすればよいのか、ペアやグループなどで学習し、学んだことをPCやタブレットでまとめるなどのICT活用にもつなげましょう。文字や写真に加えて動画や音声を用いた発表資料を作成できるようにすると、より表現力のある発表ができます。

調べ学習に使える! /

🔍 検索ワード

🔍 ルワンダ 気候 服装

🔍 女性が活躍できる社会 ルワンダ

指導のポイント

下段のデータを見て、まずは生徒にルワンダがどんな国か、想像してみることを促します。なかでも高山気候の特徴から、赤道直下であるにもかかわらず1年を通してとても過ごしやすい気候である点を説明しましょう。

ルワンダには「キニャルワンダ(ルワンダ語)」という公用語があります。フツ、ツチ、トゥワの別にかかわらず使用される言語です。

内戦後、政府はキニャルワンダとフランス語に加え、英語、のちにスワヒリ語を公用語として採用しました。

英語を採用した理由については、それがアフリカのICTハブ国を目指す政策の一環である点を押さえます。ルワンダはベルギーの植民地だったことから、公教育ではフランス語が使われていました。しかし2009年に、世界で広く使用され、東アフリカ共同体の活動を円滑に進めるツールとなる言語として、英語が公教育に取り入れられました。

*お役立ちサイト

世界の学校を見よう・ルワンダ共和国(外務省)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/rwanda.html>

ルワンダ	日本
小学校	小学校
中学校	中学校
高等学校	高等学校
大学	大学

指導のポイント

ルワンダでは、都市部だけでなく、1人1台PCがある学校環境の整備を政府が進めようとしています。しかし地方ではPCの使い方がわからない教師もいて、すべての子どもが質のよいICT教育を受

けられるわけではありません。また、中学校への就学率は56%で、高いとはいえません。紙教材に載っている中学生が、ルワンダの平均的な生徒の姿ではないことを説明してください。

教育制度の概要

●学校制度

6・3・3・4年制

●義務教育期間

6~12歳 小学校6年間

●学期制

3学期制 1学期:9~11月
 2学期:1~3月
 3学期:4~7月

●教育概要・特色

すべてのルワンダ人が質のよい公平で効率的な教育にアクセスし、労働市場の需要に応える人材を育成することを目標に政策を実施。特徴的なのは、2009年から実施している英語教育。

●粗就学率*

小学校:131% / 中学校:56% / 高等学校:32%
 (UNESCO "National Monitoring" 2019年)

*粗就学率(総就学率)は、留年や入学の遅れなど、定められた就学年齢でない子どもの就学が含まれるため、100%を超えることがあります。

発問例

- ⑤ 自分の名前の由来を聞いたことはある? ……**国語科**
- ⑥ ジャガイもを使った料理、何が好き? ……**家庭科**
- ⑦ 長いランチ時間だね! 君なら何をして過ごす? ……**英語科**
- ⑧ マンジさんに、回答してくれたお礼の文を英語で書いてみよう。 ……**英語科**

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

用語解説

*1 「東アフリカ共同体」

タンザニア、ケニア、ウガンダ、ルワンダ、ブルンジ、南スーダンが加盟する地域機構。地域の統合を目指し、関税同盟や共通市場、通貨統合に向けて動いている。

*2 「洗礼名」

洗礼は、キリスト教徒になるための儀礼のこと。ローマ・カトリックなどの洗礼では、聖書の中の人名や聖人の名前をつけられる。クリスチャンネームともいう。

発問例

- ①自分のエコバッグを持っている人はいる？使ってみてどう？
……理科(環境問題)
- ②道路にごみを落とさないために気をつけることを具体的に考えてみよう。
……家庭科
- ③ウムガンダの日の朝に聞くと、元気に活動に取り組めそうだと思う音楽(曲)は？
……音楽科
- ④自分が節水に取り組むとしたら、どんな場面で可能か考えてみよう。

*発問を取り入れやすい教材の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

アクティブラーニング!のポイント

たとえば「ルワンダの脱プラスチックの取り組みから、自分や周囲にできることを考える」など、ルワンダについて調べた成果が生徒の身近な問題の解決につながるように、探究課題を設定しましょう。

調べ学習に使える!

検索ワード

- ルワンダ 町 ごみ ウムガンダ
- 農業 ルワンダ 米 野菜
- コーヒー ルワンダ 高品質

指導のポイント

プラスチックによる環境汚染については、知っている生徒がいれば話を聞いてみましょう。ルワンダの取り組みがSDGsのどの目標の達成につながるか、その根拠をみんなで考えてみましょう。

また、ルワンダ政府は2019年、バイクタクシーの電動化を検討すると発表しています。ルワンダのこのような取り組みを通じて、日本が環境汚染の問題にどう取り組んでいるかを調べるように促しましょう。

ウムガンダは、日本でも地域によっては似たような活動があって、イメージしやすい生徒もいるかもしれません。日本でウムガンダのような活動が広がるとどんな世の中になるか考え、地域の問題を話し合う場の大切さに気づくなど、ルワンダの活動を自分の生活に引き寄せて考える生徒の姿を見取りましょう。



もっと知りたい! ルワンダ②

ごみゼロの町 脱プラスチックを目指す

プラスチックが大きな環境問題になり、でも2020年にレジ袋が有料化されましたルワンダではすでに2008年から、ビニールなどのプラスチック製の使用を全面的に禁止しています。買い物はエコバッグが主流で、買物の主婦などが買ったビニール袋は、空箱で回収されています。

そして今は、コップや紙、ストローなどの使い捨てプラスチックの生産や販売、輸入の禁止、ペットボトルの回収とリサイクル義務などに力を入れているところだ。

ルワンダは「アフリカの recycling 大国」になるだけでなく、「世界の工場」になることも目指しています。

プラスチックの禁止は、環境問題だけでなく、衛生問題にもつながります。プラスチックのゴミは、道路や川に捨てられ、衛生問題を引き起こしています。

JICAの協力

掃除にも生活にも欠かせない水ですが……

ルワンダで水が引かれた住居は、都市部のわずかに限られています。その水はろ過したり、水が濁っているため、一度わけて飲むか、塩素剤を入れておく必要があります。

それ以外の人は、地中の汲み取り(井戸)の水を生活用として使っています。自宅から500m以内の汲み取り場がある場合は、約10分、無菌の水を汲み取り、煮沸して飲む必要があります。汲み取りの水は、衛生や安全が保たれていないことが多く、1日に100リットル以上の水を飲む必要があり、24時間通水時間もありません。

JICAは、水と衛生の問題解決のために、これまで12万人以上の人のための水供給を支援し、衛生管理や生活改善のために専門員やボランティアの派遣、水道管の修理、多くの人が安全な水を手軽に使えるよう活動を行っています。

もっと知りたい! ルワンダ③

農業国ルワンダの未来は?

JICAは農業を支援しています。世界に向けて輸出されるコーヒーと紅茶は、国や農家の大半を収入源にしていますが、半分以上の農家は30%以下の低い価格で、自分たちで食べる作物を中心に、近くの市場で売られる野菜などをつくっています。

しかし、土壌の肥力が低下し、生産性が低く、農家の多くは収入を得ていません。

JICAでは、そういった小規模農家がもっと生産を伸ばし、品質を上げていくための技術支援を行っています。収入を増やしていくために、野菜の新しい品種、花など「売れる作物」づくりができるよう協力しています。

JICAの協力

アフリカで働くには?

ルワンダをはじめ、アフリカの多くでは、携帯電話が普及しています。その普及率は都市部ではほぼ100%です。

しかし、携帯電話の普及は、通信費が高額で、多くの人が使えない状態です。そのため、携帯電話の普及率は、都市部では高いですが、農村部では低い状態です。

JICAは、携帯電話の普及を支援するために、携帯電話の普及率を上げるための活動を行っています。

JICAの協力

ルワンダは、アフリカの多くの国々で、携帯電話が普及しています。その普及率は都市部ではほぼ100%です。

しかし、携帯電話の普及は、通信費が高額で、多くの人が使えない状態です。そのため、携帯電話の普及率は、都市部では高いですが、農村部では低い状態です。

JICAは、携帯電話の普及を支援するために、携帯電話の普及率を上げるための活動を行っています。

発問例

- ⑤写真の野菜は、どういった条件での栽培に適しているかな?
……技術科
- ⑥穀物の種類をあげてみよう。どの国で、どんな穀物の栽培が盛んか知っている?
……社会科
- ⑦ルワンダのコーヒーが私たちのもとに届くまでに、どんな人たちが関わるだろう?
……キャリア教育
- ⑧りんどうを季語にした俳句をつくってみよう。
……国語科

*発問を取り入れやすい教材の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

*お役立ちサイト

プラスチックを取り巻く国内外の状況(環境省)
<https://www.env.go.jp/council/03recycle/20201120t2.pdf>

用語解説

*1 「付加価値」

製品の生産活動やサービスの提供活動の結果として、新たに加えられた価値のこと。ここでは、コーヒー豆の品質向上で「おいしいルワンダのスペシャルティコーヒー」という価値が加わったことをいう。



指導のポイント

今後、アフリカ諸国の農業が発展するかどうかは、実は世界の食料不足の問題とつながっています。アフリカ諸国の人口急増に伴い、食料の需要は増える一方だからです。その観点から、ルワンダをはじめアフリカ諸国の農業開発に協力することの大切さを、生徒が理解できるようにします。

ルワンダの課題について (くわしくは15ページ)

水不足

近くに安全な水が十分に出る水道がない環境が、命に関わる問題であることに着目しましょう。健康的な生活ができない、子どもが学校に行く時間がうばわれるなどの意見が考えられます。

米を輸入に頼っている問題

国内で生産される米の品質が低く、パキスタン、タンザニア、インドから輸入される米との競争に勝てず、精米後の市場獲得に苦戦している状況を押さえます。

コーヒーの品質向上

コーヒーの栽培がルワンダにおいて付加価値の高い産業の一つであること、品質の向上こそがその付加価値を高める鍵になるということに、生徒が気づくようにしましょう。

14～15ページ

ルワンダの課題とそれに対するJICAの協力

*下線部(~~~~)は、SDGsの169のターゲットからの記載です。(SDGs CLUB/UNICEF参照。https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/)

発問例

- 1 マウンテンゴリラを写実的に描いてみよう。
……美術科
- 2 日本でも野生動物の保護活動をしているよ。何か知っている?
……道徳科
- 3 サイズル麻で編むと、ほかにどんなものができるかな?
……家庭科
- 4 イミゴンゴの柄を作図してみよう。
……数学科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。



課題・水不足

JICAの協力活動

【紙教材11ページ】

掃除にも生活にも欠かせない水ですが……



ルワンダは丘陵地が多く、人々は集住化政策により丘の頂部分に住んでいます。集住地では、SDGs⑥「だれもが安全な水を安く利用できる」、SDGs⑩「持続可能な居住地づくり」を目指しています。それは、女性の重労働を減らしてSDGs⑤「女性への差別をなくす」ことや、子どもが水を運ぶ時間を減らしてSDGs④「あらゆる段階の教育を受けられるようにする」ことにつながります。JICAは水道施設の建設や管理公社の運営・維持能力の改善協力など、さまざまな面から水の供給改善に協力しています。

課題・米を輸入に頼っている問題

JICAの協力活動

【紙教材12ページ】 アフリカで米づくり!?



米の品質や生産量の向上は、SDGs②「飢えをなくし」、SDGs①「貧しい人や弱い立場にいたる人が十分に守られるようになる」ことにつながります。JICAでは、米づくりに必要な灌漑施設について、SDGs⑩「気候変動にも対応する」ような維持管理を農民主体でできる支援体制の制度化に協力しています。

課題・コーヒーの品質向上

JICAの協力活動

【紙教材13ページ】 ルワンダ発→世界へ



日本では、高品質なルワンダのコーヒーがスペシャルティコーヒーとして高値で買いつけられている状況があります。SDGs①「人々の生活を守るためのしくみづくり」、SDGs⑩「同じ仕事に同じだけの給料が払われるようにする」ためには、SDGs⑱「国際的な支援の強化」が必要です。JICAでは、コーヒー栽培と加工、販売の指導を行い、ルワンダコーヒーの品質向上に協力しました。



JICAとは

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は、日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。くわしくは、アフリカ編紙教材の指導書やJICAの公式サイトでも確認できます。(https://www.jica.go.jp/index.html)

ルワンダにおいては、「持続的成長・貧困削減・雇用創出の促進」を開発目標に、経済基盤整備、農業開発、社会サービスの向上、人材育成などの分野で協力活動を行っています。上記は、その一例です。

国際協力について知る! /

検索ワード

国際協力 日本 JICA

国際協力 国連 SDGs

JICA 各国における取り組み ルワンダ

指導のポイント

野生動物について

内戦中のルワンダでは、当時反政府軍だったRPF*が山中で軍事訓練を行い、ゴリラを仮敵敵として攻撃することもありました。現在、マウンテンゴリラ観察ツアーの入場料は維持費や保護活動費にあてられ、実際にゴリラの数は増えつつあります。こうした動物保護の活動にも、ICTが活用されています。

また、内戦後に難民が大量に帰還する際、野生動物が殺されたり逃げたりしたため、野生動物の分布に影響を与えることもありました。SDGs15*と関連づけて生物多様性に気づくと同時に、その多様性はSDGs16*ともつながっていることを説明しましょう。

伝統工芸について

アガセチェは、内戦後に困窮する女性たちの生活改善を目的に、政府が輸出を促進した経緯があります。また、イミゴンゴについては、粘土やハーブなどの天然素材から何日もかけてつくられる工程を説明しましょう。どちらも、インターネットで写真を見つけて、指導の参考にしてください。

*RPF:ルワンダ愛国戦線。8ページ年表参照。
*SDGs15:「陸の豊かさも守ろう」 *SDGs16:「平和と公平をすべての人に」

アクティブラーニング!のポイント

たとえば、野生動物の絶滅について調べる際は、なぜ絶滅しそうなのかについて、SDGsと関連づけて考えるとよいでしょう。

特に、地球温暖化によって生息環境が変わったり、生息する場所自体がなくなったりする、外来生物に生息場所をうばわれるなどの深刻さに気づき、対策や自分たちが今後とるべき行動について提案するなどの「深い学び」につなげましょう。

調べ学習に使える! /

検索ワード

ルワンダ 国立公園 マウンテンゴリラ

アガセチェ かご サイズル麻

イミゴンゴ 顔料 デザイン